

人間社会研究科 人間学専攻〔博士後期課程〕

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
人間社会研究科（博士後期課程）では、建学の仏教精神に基づいて人間尊重の立場に立った研究活動を行い、人間の精神、心理、生命、社会などの分野において高度に専門的な知識を修得し、各専攻・コースの所定の修了要件を満たした学生に対し学位を授与する。 ◆人間学専攻〔博士後期課程〕 人間学専攻（博士後期課程）では、所定の20単位を修得するとともに以下の要件を満たした者に博士（人間学）の学位を授与する。 1.人間の精神、心理身体機能、社会行動を総合的に考察できる豊かな学識と自己の専門分野における深い学識を有すること。 2.自立した研究者として研究を継続・発展させていく研究能力を有すること。 3.博士論文を執筆するとともに、学内外の専門家による審査に合格し、その資質や将来性が認められること。	人間社会研究科（博士後期課程）では、人間尊重の立場に基づき、科学的根拠に基づいて研究活動を行い、人間の精神、心理、生命、社会などの分野において専門的な知識を修得し、実践力に優れた専門的な職業人もしくは研究者を養成するために必要な教育課程を編成し、実施する。 ◆人間学専攻〔博士後期課程〕 人間学専攻（博士後期課程）においては、それぞれの専門分野において、人間の精神、心理身体機能、社会行動を総合的に考察できる高度な知識と高い専門性のある技術を身につけるための研究科目を配置編成する。実施内容としては、研究を指導するための特殊研究の授業を毎年配置し、指導教員の継続的な指導により高度な研究を自力で行える能力を養成し、さらに各専門の高度な技術を学ぶ科目を実施する。これらの授業計画のもと、博士論文を完成する。